

仙台市立田子中学校 学校経営計画

めざす生徒像

- ・言葉を介して相手と意思疎通を図る力
- ・課題に向き合い、自分の考えで決定し行動しようとする力
- ・課題を把握し、集団がより良い方向に進む最適解を選択し行動できる力
- ・主体的に周りとは協力しながら継続的に行動できる力

目指す学校像

- ・生徒の自己決定の場面が保証（確保）されている学校
- ・元気なあいさつと笑顔であふれる学校
- ・教室や廊下に生徒の作品が飾られている学校

学校教育目標

主体性を尊重し、社会の変化にしなやかに対応し行動できる生徒の育成

目指す教師像

- ①和と輪を大切にし協働できる教職員
- ②自己研鑽に励み、本音で語り合える教職員
- ③生徒、保護者、地域から信頼される教職員

短期的目標

今年度、特に重点的に育成を目指す資質・能力

- ・言葉を介して相手と意思疎通を図る力
- ・課題に向き合い、自分の考えで決定し行動しようとする力
- ・主体的に周りとは協力しながら継続的に行動できる力

令和6年度重点目標

学校で目指す重点目標

重点目標 1

自ら考えて行動できる生徒の育成

具体の取組

- ①「行事で生徒を育てる」理念の具現化
 - 学校行事、生徒会活動（各種委員会活動、学級活動含む）の自主的・自治的活動の更なる推進
 - 田子中3大行事（合唱コンクール、田子中発表会、運動会）の一層の充実
- ②あいさつ4箇条の励行
 - 教師による率先垂範
 - 生徒会活動によるあいさつ運動の活性化
- ③部活動の充実
 - 生徒による自主的、自治的活動の支援と促進
 - 個性の伸長や体力づくりを目指した部活動の充実
 - より良い人間関係を育む部活動の更なる推進

重点目標 2

確かな学力の育成

具体の取組

- ①基礎的・基本的な知識・技能の習得
 - 見通しと振り返りを位置付けた授業づくり
 - 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
 - ・個別最適な学び
 - ・協働的な学び
 - 生徒の学習意欲の喚起
 - ・「わかる授業」「魅力ある授業」の実現
 - ・ICT機器の効果的な活用
- ②標準学力検査等の結果を生かした「改善方策」の作成・実践
 - ・学力検査の結果の分析・検証
 - ・分析・検証から得た課題の共有
 - ・改善に向けた取組の実践
- ③生徒の自己肯定感の向上
 - ・認め合う学級づくりの推進

重点目標 3

自他を尊重する力の育成

具体の取組

- ①生徒支援体制の確立と充実
 - 夢や目標を持たせる生徒支援の推進
 - いじめ対策担当教諭、不登校支援コーディネーターを明確に位置付け、いじめや不登校の未然防止に組織として積極的に取り組む。
- ②教育相談の充実
 - 適切な支援が行えるよう教職員・PTA相談員、SCIによる相談体制の一層の充実
 - 教職員の対応力の向上
- ③豊かな心を育む学級活動、道徳教育の充実
 - 「絆タイム」を通しての互いを思いやり、認め合う集団づくり
 - 命を大切にする心や思いやりの心を育む授業、いじめについて考える授業など、喫緊の課題に対応した授業の充実

三者協働で目指す重点目標

重点目標 4 (協働型学校評価到達目標)

主体的に取り組む生徒の育成
自他を大切にする生徒の育成

協働型学校評価における今年度の重点目標

- ①学ぶ意味を理解し、自ら学習に取り組む生徒の割合を70%以上
- ②学校や家庭・地域の中で、あいさつやボランティア等の活動をする意味を理解し、行動する生徒の割合を80%以上

三者による改善活動

- 学 校
- ①地域と連携し、梅田川清掃や防災訓練などの地域への貢献活動により、生徒が主体的に取り組む、自己有用感が高まる機会を設定する。
 - ②各教科や各種行事、日常生活などを通して、継続的に主体的に学ぶ意味を問いつつ、学び方や人との関わり方について支援する。
 - ③中学校見学会など小中連携を深め、中1ギャップの解消に努める。
- 家 庭
- ①あいさつや礼儀、家庭内での役割（お手伝い等）といった生活習慣において、生徒が同じく学ぶよう働きかけ、協働型学校評価に資するよう支援する。
 - ②生徒の「学び」に向け、学校との連携共有を図る。
 - ③学校評価（保護者アンケート）等への回答を振り返り、改善の機会とする。
- 地 域
- ①職場体験学習（職業講話）、地域防災訓練などで連携を深める。
 - ②地域行事において、生徒の自尊感情が高まるよう、積極的に支援を求め、活動中の見守りを行う。